



# 10月の園だより

令和5年10月2日

目黒区立祐天寺保育園園長

今年の長かった夏もようやく終わりを告げ、心地のいい風を感じる季節になりました。

暑くて遊べなかった園庭や屋上に、元気な声が戻ってきました。先日、園庭で砂だらけになって遊んだ2歳児クラスの子どもたちが玄関に帰ってきました。数人で一緒に保育室に帰ろうと、壁にかかっている幼児のリュックや掲示物等、気になる物を思い思いに見ながら階段の下まで来た時に、保育士が「忍法、かべの術」と声をかけながら、壁で忍者のポーズをして見せました。すると子どもたちもぎこちないながら指を立てて嬉しそうに横に並びました。「素敵な忍者さんだね。階段は危ないから、静かに手すりにつかまって行こうね」との声掛けに、一つ気持ちを落ち着けて上がっていきました。

何かになったつもりが好きな子どもたちに、時には生活動線の中でもこんなごっこ遊びを行うことがあります。2歳の子どもたちにどこまで忍者のイメージがあるのかは定かではありませんが、保育士が示す何やら楽し気な様子から、それぞれの忍者像が描かれていることでしょう。ごっこ遊びは、何かになったつもり、何かに見立てたつもりを楽しむ遊びです。そのつもりが誰かと共有される気持ちの繋がりを大切にしていきたいと思っています。今月は、そんなごっこ遊びを含めた室内遊びの様子をお知らせします。

さて、運動会が近づいてきました。競技内容でもごっこ遊びの要素を取り入れ、楽しみながらの準備が進んでいます。是非ご参加ください。

## 〈10月の行事予定〉

運動会 (2・3・4・5歳児)  
芋ほり遠足 (4・5歳児)  
幼児お楽しみ会 (3・4・5歳児)  
焼き芋  
避難訓練・身体計測



## 幼児クラス (3・4・5歳児)



3、4、5歳児クラスでは体験したことを再現し、様々なごっこ遊びを楽しんでいます。ある日、4歳児クラスの子が友達と休日に図書館に行った話をしてしていると、それを聞いた別の子が「行ったことある」と話に加わり、そこから図書館ごっこが始まりました。それぞれが“図書館の職員”と“本を借りに来た人”の役になり「〇日までに返してください」「このBOXに返すこともできますよ」とやりとりをしていました。時には大きな声で話す子に「図書館は静かにするところなんだよ」と声を掛けるなど図書館そのものです。やりとりを楽しんでいく中で「ピッてる機械があるんだ」と思い出し、空き箱やラップ芯を組み合わせる機械を作るなど工夫する姿も見られました。保育士が「本を借りる時に図書館の貸し出しカードが必要だね」と、厚紙などの材料を用意すると、興味がわいた5歳児クラスの子も「作りたい」と加わってきました。厚紙に自分の好きな絵を描いて貸し出しカードを完成させてカウンターに持って行き、やりとりを繰り返しています。後に3歳児クラスの子も保育士と一緒に遊びに加わり「どれにしようかな」と本を選び、楽しんでいました。

引き続き、生活の中の身近な人になりきり、相手と心を通わせ合う心地よさを感じながら想像力豊かにごっこ遊びを楽しんでいきたいと思っています。



## 0・1・2歳クラスの室内遊びの様子をお知らせします

### ちゅうりっぷ組（0歳児）



ちゅうりっぷ組には30cmの高さの巧技台に斜面台を付け、登ったり下りたりできる遊具を設定しています。保育士が斜面の上から子どもの名前を呼んだり、斜面の上に玩具を置いたりして誘うと「あっ」という表情や声を出して向かって来ます。移動の仕方はずり這いや四つ這い、歩行など様々ですが、子どもたちは「何か楽しそうだな」「なんだろう」とわくわくした表情を浮かべています。斜面を登ったり、腹這いやおしりを付いて滑ったりして体を動かして楽しんでいます。

新しく入園してきた子どもたちも保育士に抱っこや腹這いの姿勢であやされたり、友達が近くに来ると手足をバタバタとさせ嬉しそうに笑ったりして楽しく過ごしています。



### たんぼぼ組（1歳児）



お手玉やチェーンをのせたお皿を布で包みお弁当に見立ててバッグに入れたり、リングや布を帽子のようにかぶり“いってきます”と手を振ってお出かけします。以前は保育室を一回りしてすぐに帰ってきていたのですが、最近は保育士が用意した場所に座って自分たちが持ってきたものをバッグから出して食べる仕草をしています。れんげで具材をすくって口に運びもぐもぐと口を動かした



士や友達に「おいしいね」と話しかけたりして楽しんでいます。誰かが食べ始めると、それを見て僕も、私もとままごとコーナーに同じようなものを取りに行き、一緒に食べたり飲んだりして遊ぶことを楽しんでいます。

今後も子どもたちの経験したことの再現遊びを楽しんでいきたいと思えます。

### ひまわり組（2歳児）



ある日、お祭りを経験した子が「(盆踊り) 始まるよ」と新聞紙で作ったバチで太鼓に見立てたベンチをたたき遊び始めました。見ていた子が「お祭り行こう」と友達を誘い、「可愛くする」と色鮮やかなアイクリップをお互いの髪の毛に付けて「かわいいね」と鏡の前で見合っていました。おしゃれを終えると人形を持ってきて「お祭りのお洋服やって」と言うので、保育士が赤い布を浴衣のように巻くと「楽しいよ、アイスあるかな」と人形に優しく声を掛けて出かけていました。

お祭りや盆踊りに行き楽しい経験をした子どもが多く、炭鉾節を口ずさみ身振り手振りをつけて踊る子や、保育士の歌に合わせて太鼓をたたいたり、回ったり跳ねたりして、何度も友達と一緒に楽しんだ子どもたちでした。

